

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：返礼品数	指標の求め方：寄附者への返礼品の数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：寄附者数	指標の求め方：1年間の寄附者数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 実績値	250 250	260 313	270 302		280	290	300		300	300	300	300	
	成果指標 1 (単位/人)	計画値 実績値	9,500 12,522	10,000 44,571	11,000 42,990		12,000	13,000	14,000		14,000	14,000	14,000	14,000	
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっている									
	総合評価					極めて良好である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 12社のふるさと納税受付サイトに返礼品を掲載し、着実に寄附者数を増やすことができました。寄附者件数の増加に伴い、業務体制の強化を図るため、ふるさと応援寄附金事業の業務の一部を委託し、事務の効率化を図るとともに、民間事業者のノウハウを活かしながら、情報発信の強化を図ってきたところであり、結果、成果指標を達成することができました。今後も寄附者件数の増加に向け、返礼品の種類を増やすことで、寄附者増加に繋げていきたい。	自己分析： 15社のふるさと納税受付サイトに返礼品を掲載するとともに、新規返礼品提供事業者の参入による新規返礼品の拡充により、大きく寄附者数を増やすことができ、成果指標である10,000人を達成することができました。今後もさらなる寄附者件数の増加に向け、返礼品提供事業者や新規返礼品の拡充などに、寄附者増加に繋げていきたい。	自己分析： 18社のふるさと納税受付サイトに返礼品を掲載するとともに、新規返礼品提供事業者の参入による新規返礼品の拡充により、大きく寄附者数を増やすことができ、成果指標である10,000人を達成することができました。今後もさらなる寄附者件数の増加に向け、返礼品提供事業者や新規返礼品の拡充などに、寄附者増加に繋げていきたい。	判断理由： 活動指標を達成するとともに、業務委託によるノウハウの活用、新規返礼品事業者の拡充により、成果指標を大きく上回ることができた。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性					拡大										
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)	R5： ふるさと納税の寄附者数を増やすために、新規返礼品提供事業者や返礼品拡充に重点を置いて事業を進めており、令和4年度では、前年度対比で3.5倍強の寄附件数を伸ばすことができました。今後さらに、寄附者数を増やすため、砂川市の魅力や寄附のメリットを広く知ってもらうため、WEB広告の活用などのPR活動を強化していくことから「拡大」とした。				R8：				R10：						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：公共建築物の維持保全事業費	指標の求め方：公共建築物の維持保全に係る事業額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：公共建築物の維持保全実施状況	指標の求め方：計画している維持保全事業実施割合

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合 計画 合計
指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値 実績値	4,114,000 3,861,000	33,716,000 85,550,520	71,123,000 163,724,550		64,255,000		31,700,000							
	成果指標 1 (単位/%)	計画値 実績値	100 100	100 100	100 100		100		100							
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっている										
	総合評価					良好である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 計画通りの更新がなされている。	自己分析： 当初予定していた更新年度に変更が生じているが、計画通りの更新がなされている。 【計画年度繰下】 ・北勤労者福祉会館暖房器→R5年度以降 ・保育所LED改修(空知太)→R5年度以降 ・ふれあいセンター暖房器・床→R5年度以降 ・旧オアシスゴルフ場管理棟2解体→R5年度 【計画年度繰上】 ・ふれあいセンター屋上防水改修→R6年度より変更 ・分庁舎暖房器→R5年度より変更	自己分析： 前年度の計画年度繰下分の事業実施(ふれあいセンター空調設備)もあり、計画通りの更新がなされている。	判断理由： 利用予定のないものについては解体をすすめ、計画掲載事業については後年次になったとしても着実に実施されていることから、計画はほぼ達成されていると判断した。事業費実績が予定より膨らんでいる傾向がある。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
今後の方向性					現状のまま継続											
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)	R5： 公共施設等が耐用年数を迎え、多額の建替・改修費用が見込まれており、今後も長寿命化や活用する施設の見極め、適正配置を図るとともに、跡地活用などについても考慮した上で施設の方向性を決める必要がある。 また、小中学校の統廃合により大規模な未利用地が生じるため、跡地活用について早急に検討を進めていく必要がある。					R8：					R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方: 活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方: 成果指標の設定が困難であることから設定しない

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
指標	活動指標 1 (単位/)	計画値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		実績値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
指標	成果指標 1 (単位/)	計画値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		実績値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				—										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				—										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				良好である										
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	自己分析: 市長車の損傷により、更新年度が早まったが、適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	自己分析: 適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	判断理由: 計画的な更新を行い、公用車に係る費用負担の平準化が図られている。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:
	今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5: 年数経過により車両の設備故障が頻繁に生じる車両も出てきており、短期間でも使用困難となる事案が出てきていることから、経過年数にとらわれず、車両の状態を考慮しながら計画的に車両を更新することが必要である。また、市の公用車として環境配慮車の配置についても検討していく。				R8:				R10:					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: ー	指標の求め方: 数値化することが困難なため指標を設定しない
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: ー	指標の求め方: 数値化することが困難なため指標を設定しない

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合 合計
指標	活動指標 1 (単位/)	計画値 実績値														
	成果指標 1 (単位/)	計画値 実績値														
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっている										
	総合評価					極めて良好である										
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 令和3年3月に市役所庁舎の引き渡しを受け、什器備品の購入や引越しを行い、5月6日に新庁舎を開庁した。開庁後、旧庁舎の解体工事を行い、令和4年3月に完了した。	自己分析: 旧庁舎解体後の跡地に駐車場を整備した。	自己分析:	判断理由: 令和4年度に駐車場整備を実施し、庁舎建設事業を完了した。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後の方向性					完了										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5: 庁舎建設事業については、平成29年度「庁舎建設検討審議会」設置から始まり、「庁舎建設基本計画」を策定し、令和元年度「庁舎建設工事発注」、令和3年度「新庁舎の開庁」と事業を実施し、令和4年度「旧庁舎跡地の駐車場整備」をもって基本計画の通り庁舎建設事業を完了した。				R8:				R10:						